

## 蕎麦づくり入門スタート

蕎麦づくり入門講座が8月23日、秋畑那須地区の「ちいじがき蕎麦の里」で始まりました。

種まきから蕎麦打ちまで楽しめるコースに新規入門17口を含む40口の申し込みがありました。種まきには、約100人が参加し、地元の蕎麦づくり名人の指導を受けながら約100㎡の畑を耕し、蕎麦の種をまきました。9月13日には土寄せが行われ、参加者は蕎麦の生育状況を確認しながら、爽やかな汗を流しました。



種をまき、名人と一緒に土をかける参加者



雨風から守るため土寄せ作業を行っています

親子3代で参加した田中亮佑さん（上野）は「初めての参加で、種まきから土寄せの短い期間で蕎麦が成長していることに子どもたちもびっくりにしていました。家族みんな蕎麦好きなので、この後の工程も楽しみです」と話されました。

10月上旬には白い可憐な蕎麦の花が咲き、畑一面に広がる風景を楽しめます。

蕎麦づくり入門の様子は町ホームページ「蕎麦づくり日記2020」で公開しています。ぜひご覧ください。



## 生涯スポーツの振興に尽力

群馬県の生涯スポーツ功労者と生涯スポーツ優良団体の表彰式が9月4日、県庁昭和庁舎で開かれました。これは地域や職場において、地道な活動を継続し、生涯スポーツの健全な普及や発展に貢献した個人、団体を県知事が表彰するものです。

町からは、塩山安利さん（小川）が栄えある賞を受賞しました。塩山さんは、長年にわたり女子バレーボールの福島クラブ監督・コーチとして活動や後進の指導に携わるとともに、郡・町のバレーボール協会役員として町内外のバレーボール競技の普及・振興に貢献されました。現在も郡・町のバレーボール協会副会長として尽力されています。



# 手紙で感謝の気持ち 新屋小

町内の小学校では、児童が日本郵便株式会社の手紙振興施策「サンキュー♡かもめ」に取り組み、手紙の温かさや喜びなどを体験しています。

新屋小学校では、4年生が7月に家族や医療従事者へ「ありがとう」のメッセージをはがきを書いて送りました。医療従事者へ向けて書いたはがきは公立富岡総合病院へ差し出され、夏休み明けに同病院から学校へお礼の手紙が届きました。「体気をつけて頑張ってください」と書いた茂木瑠菜さんは、お礼の手紙を読んで「喜んでもらえてよかったです」と話してくれました。



廊下に掲示された病院からの手紙を読む児童

# 家で食育！簡単レシピ作成 食改推

食生活改善推進協議会役員の方々の皆さん



甘楽町食生活改善推進協議会（松浦政子会長・29人）は9月2日、食育教材と同会作成の「簡単レシピ」を町内の小学生に配布しました。

これは、毎年夏休みに開催していた「おやこ食育教室」が中止となった代わりに各家庭で楽しく料理してもらおうと実施したものです。同会の会員が料理を作り写真を添えたレシピは低学年・高学年向けの2種類で、「カップずし」や「きんぴらごぼう」などが紹介されています。

松浦会長は「ぜひ家庭で作って、家族で感想を話し合ってください」と話されました。

# 夏の疲れを癒す香りに包まれて アロマ教室

手作りアロマセラピー教室が9月4・11・18日に町公民館で田中佳代子さん（上野）を講師に迎えて開かれ、計24人が参加しました。

参加者は脳や皮膚などの構造やエッセンシャルオイル（精油）の種類・効能などについて学び、アロマセラピーへの関心を深めました。また、精油を使った除菌スプレー、コスメ、マッサージオイルを作りました。

参加者は「以前から興味があり、とても勉強になりました」「香りに癒されスキンケアもでき、心も身体もリフレッシュできました」「作ったものを早速使ってみたいです」などと感想を話していました。



精油を入れて自分好みのコスメを作る参加者の皆さん